

## 平成28年度施策評価調書

整理番号	14
評価担当課	建設水道部上下水道室浄水場
職・氏名	

### 1 施策の名称等

施策名(基本事業)	水質の向上(3-10-2)		
総合計画の位置づけ	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
	主要施策	10	上水道・簡易水道の整備

### 2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	安全な水道水を安定供給するためには、水質の保全維持が重要です。取水施設及び浄水施設の改修整備を進め、水質汚染源の調査・監視の強化に努めます。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	水源調査及び監視のために、水質検査機器を計画的に更新することで、迅速に検査可能な体制を維持しています。また、老朽化した取水施設及び浄水施設を計画的に更新し、安全な水道水の供給に努めています。
施策の課題	施設の老朽化に伴い、計画的な施設改修が必要ですが、水道事業の健全経営のために事業計画の見直しが必要となることが予想されます。水質検査機器更新事業は平成28年度で完了しますが、今後検査体制を維持するためには数年後に機器更新を行う必要があります。検査業務に係る費用や人員確保のために検討を進めなければなりません。

### 3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H25	H26	H27	目標年度(年度)
緑丘浄水場改修工事	浄水場施設の改修工事件数	目標値	0	1	1	6
		実績値	0	1	1	
		進捗率	#DIV/0!	100%	100%	
風連浄水場改修工事	浄水場施設の改修工事件数	目標値	1	2	2	12
		実績値	1	2	2	
		進捗率	100%	100%	100%	
水質検査機器更新事業	水質検査機器更新台数	目標値	3	1	2	
		実績値	3	1	2	
		進捗率	100%	100%	100%	
旧簡易水道施設改修工事	旧簡易水道施設の改修工事件数	目標値	2	2	1	
		実績値	2	2	1	
		進捗率	100%	100%	100%	
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

### 4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	水道水の安定供給のために、計画的に施設の改修や検査機器の更新を進めています。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

今後も適正な計画に基づき施設等の改修及び更新を行い、水源水質の監視の強化及び水道水の安定供給に努めます。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H27年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H27決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	緑丘浄水場改修事業	浄水場の水質監視装置を更新し、監視体制を強化する。	5,886	a	a	b	a	a	A	A	A
2	風連浄水場改修事業	取水施設及び浄水施設を計画的に改修し、安全な水道水を供給する。	5,810	a	a	a	a	a	A	A	A
3	水質検査機器更新事業	水質検査機器を計画的に更新し、精度の高い検査体制を維持する。	7,471	a	a	b	a	a	A	A	A
4	旧簡易水道改修事業	老朽化した取水施設を改修し、安全な水道水を供給する。	1,923	a	a	a	a	a	A	A	A

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

--

平成28年度事務事業評価調書

整理番号	14	枝番	1
評価担当課・係・職・氏名	建設水道部上下水道室浄水場管理係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	緑丘浄水場改修事業			
総合計画の位置づけ	有 ・ 無	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
		主要施策	10	上水道・簡易水道の整備
		基本事業	2	水質の向上
		実施計画事業	2	水質監視態勢の強化

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	水源水質監視の強化を図ることで、安全な水道水を供給する。			
対象(何を又は誰を)	水道利用者			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	水源監視装置を更新し、水質監視態勢の強化を図る。			
意図(どのような成果を期待しているか)	水質監視態勢の強化を図り、将来的に安全で安心な水道水を供給できる。			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直 営	一部委託	全部委託	補助等 <u>請負</u> その他( )
事業実施期間	始期	H21 年度	終期設定	<u>有</u> (終期 H38 年度) ・ 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 ( 年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 緑丘浄水場改修工事	件	目標	0	1	1	0	6
			実績	0	1	1	0	6
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
成果指標	1 緑丘浄水場改修工事	件	目標	0	1	1	0	6
			実績	0	1	1	0	6
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	0	8,208	5,886	0	原水色度計更新工事 5,886千円
国道支出金					
地方債		8,200	5,800		
その他					
一般財源		8	86		
人件費	0	6,629	6,490	0	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数		1.00	1.00		
総事業費	0	14,837	12,376	0	
対前年比(%)	—	#DIV/0!	83	0	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1		14,837	12,376	総事業費/工事件数
	活動指標2				
	活動指標3				

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 ( )

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	水道水源水質の保全維持のために市が主体となって水源監視を継続しなければならない。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	水源監視は24時間監視が必要となるため、24時間監視可能な水源監視装置の更新が必要となる。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	b	水道水の安定供給のために水源監視装置は重要であるが、監視システムについて今後検討が必要であると考えます。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	水道料金収入により、水道事業を営んでいるため受益者負担は適正である。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	概ね計画どおり実施している。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	安全な水道水を供給するためには、水道水源の監視強化が重要である。計画的に監視装置の更新を進めることが必要となる。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成28年度事務事業評価調書

整理番号	14	枝番	2
評価担当課・係・職・氏名	建設水道部上下水道室浄水場管理係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	風連浄水場改修事業			
総合計画の位置づけ	有 ・ 無	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
		主要施策	10	上水道・簡易水道の整備
		基本事業	2	水質の向上
		実施計画事業	2	水質監視態勢の強化

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	取水施設及び浄水施設の改修を計画的に行い、安全な水道水を供給する。			
対象(何を又は誰を)	水道利用者			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	改修計画に基づき施設改修を行う。			
意図(どのような成果を期待しているか)	施設改修を行うことで、安全な水道水を安定供給できる。			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直 営	一部委託	全部委託	補助等 <u>請負</u> その他( )
事業実施期間	始期	H21 年度	終期設定	<u>有</u> (終期 H32 年度) ・ 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 風連浄水場改修工事	件	目標	1	2	2	2	12
			実績	1	2	2	2	12
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
成果指標	1 風連浄水場改修工事	件	目標	1	2	2	2	12
			実績	1	2	2	2	12
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳	
事業費	2,394	4,806	5,810	11,902	除鉄・除マンガンろ過器ろ材更新工事 4,428千円 新2号井戸改修工事 1,382千円	
国道支出金						
地方債		3,700	4,400	10,200		
その他						
一般財源	2,394	1,106	1,410	1,702		
人件費	6,683	6,629	6,490	6,244		
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244		
担当職員数	1.00	1.00	1.00	1.00		
総事業費	9,077	11,435	12,300	18,146		
対前年比(%)	—	126	108	148	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1	9,077	5,718	6,150	9,073	総事業費/工事件数
	活動指標2					
	活動指標3					

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 ( )

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	水道水の安定供給のために、計画的に施設改修を行うことは必要である。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	計画的に改修を進めることで、施設の不具合を未然に防ぎ、水道水を安定供給できる。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	改修を行うことにより、施設の不具合を防止し、修繕費等の経費削減につながる。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	水道料金収入により、水道事業を運営しているため受益者負担は適正である。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	概ね計画どおり実施している。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	計画的に施設改修を行うことで、信頼性の高い水道水の安定供給が確保できる。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成28年度事務事業評価調書

整理番号	14	枝番	3
評価担当課・係・職・氏名	建設水道部上下水道室浄水場管理係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	水質検査機器更新事業			
総合計画の位置づけ	有 ・ 無	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
		主要施策	10	上水道・簡易水道の整備
		基本事業	2	水質の向上
		実施計画事業	2	水質監視態勢の強化

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	水質検査機器を計画的に更新し、精度の高い検査体制を維持する。			
対象(何を又は誰を)	水道利用者			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	迅速に検査を行う体制を維持し、水道水源の監視強化を図る。			
意図(どのような成果を期待しているか)	水質の保全維持をすることで、安全・安心な水道水を供給することができる。			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直 営 一部委託 全部委託 補助等 請負 その他( )			
事業実施期間	始期	H23 年度	終期設定	有 (終期 年度) ・(無)
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 水質検査機器更新予定台数	台	目標	3	1	2	3	
			実績	3	1	2	3	
	2	目標						
		実績						
	3	目標						
		実績						
成果指標	1 水質検査機器更新予定台数	台	目標	3	1	2	3	
			実績	3	1	2	3	
	2	目標						
		実績						

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳	
事業費	19,737	13,230	7,471	10,700	全有機体炭素計 5,700千円 高速液体クロマトグラフ 1,771千円	
国道支出金						
地方債	19,700	13,200	7,400	10,700		
その他						
一般財源	37	30	71			
人件費	6,683	6,629	6,490	6,244		
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244		
担当職員数	1.00	1.00	1.00	1.00		
総事業費	26,420	19,859	13,961	16,944		
対前年比(%)	—	75	70	121	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1	8,807	19,859	6,981	5,648	総事業費/更新機器台数
	活動指標2					
	活動指標3					

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 ( )

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	水道水源水質の関心は高く、水質の保全維持のために市が主体となって水源監視を継続しなければならない。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	水質の保全維持のために、自己検査体制を維持することは最適であると考ええる。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	b	検査体制を維持することで、迅速な検査が可能のため、水道水源の監視の強化につながる。しかし、検査機器更新費用のほか、検査に要する費用は高額であるために、将来的に検査体制の検討が必要となる。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	受託検査料金により、検査に係る経費を一部負担しており適正である。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	計画どおり検査機器の更新を進めており、信頼性の高い検査体制を維持している。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	安全な水道水を供給するためには、水道水源の監視強化が重要である。計画的に検査機器を更新し、信頼性の高い検査体制を維持することは、監視強化に最適であると考え当面現行どおりとする。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	検査機器購入費は高額であり、検査担当職員の人材確保の点も考慮すると、将来的には検査体制の検討が必要であると考ええる。	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり



平成28年度事務事業評価調書

整理番号	14	枝番	4
評価担当課・係・職・氏名	建設水道部上下水道室浄水場管理係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	旧簡易水道改修事業			
総合計画の位置づけ	有 ・ 無	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
		主要施策	10	上水道・簡易水道の整備
		基本事業	2	水質の向上
		実施計画事業	2	水質監視態勢の強化

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	取水施設及び浄水施設の改修を計画的に行い、安全な水道水を供給する。			
対象(何を又は誰を)	水道利用者			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	改修計画に基づき施設改修を行う。			
意図(どのような成果を期待しているか)	施設改修を行うことで、安全な水道水を安定供給できる。			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直 営	一部委託	全部委託	補助等 ( ) 請負 ( ) その他( )
事業実施期間	始期	H21 年度	終期設定	有 (終期 年度) ・ (無)
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 ( 年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 旧簡易水道施設改修工事	件	目標	2	2	1	2	
			実績	2	2	1	2	
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
成果指標	1 旧簡易水道施設改修工事	件	目標	2	2	1	2	
			実績	2	2	1	2	
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳	
事業費	64,618	75,135	1,923	3,176	瑞穂浄水場井戸改修工事 1,923千円	
国道支出金	21,206	25,044				
地方債	42,400	50,000				
その他						
一般財源	1,012	91	1,923	3,176		
人件費	6,683	6,629	6,490	6,244		
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244		
担当職員数	1.00	1.00	1.00	1.00		
総事業費	71,301	81,764	8,413	9,420		
対前年比(%)	—	115	10	112	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1	35,651	40,882	8,413	4,710	総事業費/工事件数
	活動指標2					
	活動指標3					

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

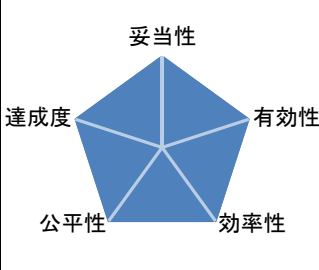
情勢の変化	
改善点	指摘事項 ( )

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	水道水の安定供給のために、計画的に施設改修を行うことは必要である。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	計画的に改修を進めることで、施設の不具合を未然に防ぎ、水道水を安定供給できる。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	改修を行うことにより、施設の不具合を防止し、修繕費等の経費削減につながる。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	水道料金収入により、水道事業を運営しているため受益者負担は適正である。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	概ね計画どおり実施している。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	計画的に施設改修を行うことで、信頼性の高い水道水の安定供給が確保できる。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり